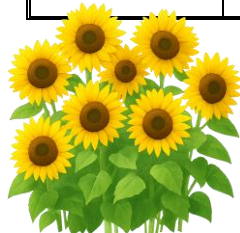


	新開小だより ～太陽のように ひまわりのように～	学校教育目標 かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 令和8年度7月号 児童数 389人
---	--	--



笑顔が育む子供たちの幸せ

「Happiness After Smile」(ハピネス アフター スマイル)



ヒマワリ 花言葉:私はあなただけを見つめる、あこがれ
新開小学校の花 児童玄関前のたいよう広場に大きな壁画がある

ブログ更新中



校長 八代 剛

日ごとに暑さが増し、夏の訪れを感じる頃となりました。梅雨空が続いていますが、晴れた日には、青空の下で元気に活動する子供たちの笑顔や姿が、ひとときわ輝いて見えます。1学期も、残すところあと12回の登校日となりました。

今年度も「Happiness After Smile」を合言葉に、教育活動を進めています。1学期を振り返ると、子供たちは友達や先生と関わりながら、さまざまな経験を積み重ねてきました。保護者の皆様も、お子さんの成長を感じられる場面が多くあったのではないのでしょうか。学校でも家庭でも、子供たちの表情が自然とほころぶ瞬間には、周りの大人まで温かな気持ちになります。



さて、そのような表情には、科学的にも心と体により働きがあることが知られています。人は笑顔になると、「**幸せホルモン**」とも呼ばれる**セロトニン**の分泌が促されるといわれています(R7 5月号にも掲載)。セロトニンには、心を落ち着かせたり、ストレスを和らげたりする働きがあり、前向きな気持ちや意欲につながることが分かっています。さらに、朝日を浴びることや適度な運動、規則正しい生活も、セロトニンの分泌を促すとされています。毎日の生活習慣を大切にすることが、健やかな心と体を育むことにつながります。

私が日々教室を訪れる中で、特に心を動かされるのは、友達と協力しながら課題に取り組む姿です。意見がぶつかることもありますが、互いの考えを認め合い、よりよい答

えを見つけようと話し合う姿には、子供たちの確かな成長を感じます。そして、先生や友達の話に真剣に耳を傾ける姿からは、自ら学ぼうとする意欲が伝わってきます。こうした積み重ねが、自己肯定感や主体性を育み、子供たちの未来へとつながっていくのだと感じています。

「笑う門には福来る」ということわざがあります。温かな表情や前向きな言葉は、人の心を和らげ、人と人との距離を縮めてくれます。**学校でも家庭でも、お互いを認め合い、自然と笑みがこぼれる時間を大切にしながら、子供たちの幸せを育んでいきたいと思っています。**私自身も、「忙しいときこそ笑顔で」を大切にし、子供たちや教職員、保護者・地域の皆様と温かなつながりを大切にしていけるよう努めてまいります。

まもなく1学期が終わります。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。どうぞ健康にご留意いただき、ご家族そろって実りある夏休みをお過ごしください。心よりお祈り申し上げます。



【50th anniversary 企画】
〈タペストリーで学校を飾ろう！〉

子供たちから、逆三角形のタペストリーを募集して、一人一人の作品を校内に掲示します。誰もが取り組みやすいように塗り絵で参加できるようにもなっています。たくさんの子に参加してもらいたいです。作品は2学期にお披露目の予定です。

